



北っ子だより

第 3 号

令和 3 年 6 月 11 日発行
吉野町立吉野北小学校
校長 吉中 久実

北っ子人権宣言 2021

「みんなで創る 笑顔いっぱいの吉野北小学校」をスローガンに、「自分には何ができるか?」「何をがんばるのか?」「友だちはどんなことをがんばっていたのか?」等、全校みんなで意見を出し合いました。

【1年生】

- ・あいさつをこれからもいっぱいします。
- ・えがおでがっこうにいきます。
- ・はなやいきものをだいにします。
- ・といれのすりっぱをそろえます。

【2年生】

- ・「だいじょうぶ」って聞いてあげる。
- ・おともだちをさそってあそぶ。
- ・できないことにチャレンジする。 ・ともだちのだれかがおしえてくれたら「ありがとう」を言う。

【3年生】

- ・あいさつは、笑顔の力になる。 ・人を元気に、人を笑顔にするプラスの言葉を広めたい。
- ・「あそぼうよ」「あそびにいこうよ」みんなで声をかけあおう。

【4年生】

- ・何かしてもらったら顔を見てお礼を言う。 ・自分から笑顔いっぱいのあいさつをする。
- ・地域の人にあいさつをする。 ・みんな思いやりの心を持つ。

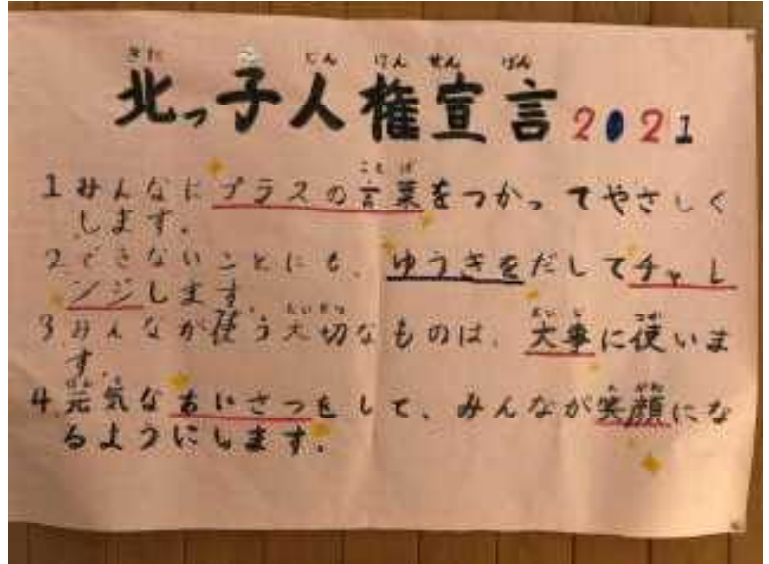
【5年生】

- ・外で学校のみなといっぱい遊ぶ。 気持ちのいいあいさつをする。
- ・友だちがこまっていたら助けてあげる。 ・どの学年の子とも遊ぶ。

【6年生】

- ・相手も自分も笑顔になれるように笑顔を大切にします。
- ・自分が遊んでおもしろいと感じたら、他の人にもその遊びを教えてあげる。
- ・他の学年と関わって、最高の思い出をたくさん作ります。 ~各学年の発表より抜粋~

※全校児童が考えた意見は職員室前廊下に掲示しています。来校の際ご覧ください。



□全校が考えた意見を運営委員会（6年生：山口さん・横谷さん、5年生：佐々木さん・橋本さん）の子どもたちと辰本・福本先生が集約し、「北っ子人権宣言 2021」が完成しました。

□早速、完成した人権宣言をもとに6月10日に人権講話を体育館で行いました。運営委員会の4名と、車谷・馬場先生が「北っ子人権宣言について考えよう」の課題で人権講話を進めました。各教室に戻り、笑顔いっぱいの北小学校にするため、人権宣言の4項目について話し合いをしました。

ボランティアのみなさん、ありがとうございます！②

吉野町は、「地域と共にある学校づくり」を進めるために、「学校・地域パートナーシップ事業」を推進しています。今年度も北小学校ボランティアとして75名ものみなさんが、さまざまな形で支援し、子どもたちの成長を見守ってくれています。

今回は前回ご紹介した「見守り活動」に続き、「草刈りボランティア」について紹介します。

分野：「草刈り」

登録者数：13名

春から初夏へ季節が移り変わり、草花の生長にも目を見張るものがあります。校庭の雑草も勢いよく伸び、学校職員だけでは手に負えない状態でした。

6月1日夕刻、草刈りボランティアさんはじめ、PTA本部役員の皆さん、地元企業の有志の皆さん、パートナーシップ事業担当者の皆さんが本校の草刈り作業をしてくださいました。子どもたちが遊ぶ遊具の周辺や、広い校庭、学校敷地内各所、通学路の石垣等、本校職員と一緒に作業をしてくださいました。当日の天候は晴れて、大変暑い中ではありましたが子どもたちが快適な環境で学校生活を送れるよう、隅々まできれいに仕上げてくださいました。



地域では田植えもすみ、カエルが元気に活動しています。そのカエルを狙ってヘビも出没する季節に向かっていきます。草をきれいに刈っていただいたおかげでヘビなど有害動物・昆虫の発見が容易になります。この季節、子どもたちの安全面からも大変ありがたい草刈りをしていただけました。参加していただいた10名をこえる多くの皆さん、本当にありがとうございました。

※次回は「図書ボランティア」「読み聞かせボランティア」の皆さんの活動を紹介します。

寄贈していただきました

□ 図 書 □

峰寺在住の松尾 吉晃 様より図書を寄贈していただきました。

「来年度、吉野小学校との合併に伴い、本年度で吉野北小学校が閉校します。最後の1年間をこれまで同様に元気に明るく学校生活を精一杯送って欲しい。」との願いを込めて、寄贈していただきました。

各学年毎に子どもたちに必要な本を選定してもらい、発注もすでにさせていただきました。間もなく図書を届けていただける予定です。絵本や小説、物語、事典、図鑑等、各学年の発達段階に応じた30冊をこえる書籍を寄贈していただきました。ありがたく学習で活用させていただきます。来年度開校の吉野さくら学園へも引き継いでいきたいと思ひます。

松尾様、本当にありがとうございました。

【寄贈していただいた図書】

「絵本 いのちをいただく：講談社」「きみの家にも牛がいる：開放出版社」

「くまのトーマスはおんなのこ：ポット出版」「いろいろ いろんな からだのほん：少年写真新聞社」

「もっとざんねないきもの事典：高橋書店」「はっけんずかん うみ改訂版：学研プラス」

「きかいのしくみ図鑑：学研プラス」「はっけん ことばずかん もののなまえ：学研プラス」他

□ 木製アルコール消毒液噴射機 □

峰寺の株式会社 寺本木材 様より「木製アルコール消毒噴射機」を寄贈していただきました。

子どもたちが使いやすい大きさに設計していただき、吉野材をふんだんに使用した温かみの感じられる噴射機です。コロナウイルス感染症予防のため、各教室にアルコール消毒液を設置しています。全員が使える保健室前廊下に寄贈していただいた噴射機を設置し、活用させていただきます。

寺本木材様、本当にありがとうございました。

